

# 季節や時間で移り変わる 名城フォトアルバム

春



ソメイヨシノやシダレザクラなど約1000本が植えられ、天守閣や白壁に映える景色は、「日本の桜の名所100選」にもなっています。4月上旬に満開を迎えます。

夏



姫山の木々が青々と色づき、真夏の太陽を受けて、天守閣の白さが際立つ季節。各所に植えられた松の木との組み合わせは、日本を代表する風景の一つです。

秋



城内の木々が色づき、白い名城が紅葉で彩られる秋も、美しい風景が広がります。紅葉の見頃を迎えるのは例年11月下旬頃です。

冬



木々が葉を落とし、モノトーンの世界が広がる冬。特に降雪のあった日は、枝葉や石垣が雪化粧をまとい、めったに見られない絶景が広がります。

朝



姫路城の西側にある男山は、大天守と3つの小天守を一望できる数少ない場所。朝日を背景に、シルエットに浮かび上がった風景は、息をのむ美しさです。

夜



1年を通して夜のライトアップが行なわれ、幻想的に浮かび上がった大天守が美しい姫路城。春には夜桜会が開催。

## 城下町での楽しみ 01 姫路グルメ

### 01 姫路グルメ



#### 手延べそば てのべそば

姫路がある播州地方では、約600年の伝統と歴史がある手延べそば。明治時代以降「揖保乃糸」の名が全国に広まりました。

#### 前どれ (魚料理) まえどれ

姫路近海で獲れた地魚を使った料理のこと。鮮度のよさと豊富な種類が自慢で、なかでもアナゴの味美しさは有名です。

#### 地酒 じざけ

姫路周辺は酒米として使われる「山田錦」のふるさとであり、姫路は地酒の宝庫でもあります。



## 姫路城を満喫した後は、 いざ、楽しみいっぱいの 城下へ！



### 02 姫路みやげ



#### 姫革細工 ひめかわざいく

牛革を白くなめた革を使った、姫路だけで生産される伝統工芸品。日光に当たると白さが増す特徴があります。この革に型押しと手書きで鮮やかな文様を施した、財布やバッグ、メガネケースなどが人気です。

#### 明珍火箸風鈴 みょうちんひばしふうりん

伝統的な技術を活かし、鉄を何度も打ち叩くことで鍛え上げた「明珍火箸」が奏でる明珍風鈴の透明感のある涼やかな音色は、まさに匠のなせる技です。



#### 5 姫路みやげが揃う。「播産館」

姫路や西播磨の様々な特産品がそろう。JR姫路駅前にあるみやげ物店。和菓子や地酒などお求めやすいお土産物が豊富です。

営業：9:00～19:00  
定休日：12月29日～1月3日



## お得なバスで城下を周遊

姫路城に加えて周辺に点在する観光スポットを巡る際に便利なのが、姫路駅を起点に運行しているループバスです。

### ●姫路城ループバス

姫路駅前から姫路城の大手門へ向かい、お城の周囲を一周して駅に戻る観光バス。1日乗車券なら乗り降り自由で、姫路城や好古園、姫路市立美術館などの入場料が割引になる特典が受けられます。

料 金：1回 大人100円、小人50円／1日乗車券 大人300円、小人150円  
運行月：3～11月は毎日、12～2月は土・日曜、祝日（年末年始は運休の場合あり）



### 6 姫路市立美術館

赤レンガが美しい美術館。地元ゆかりの画家のほか、世界的な画家たちの作品を収蔵しています。



### 7 兵庫県立 歴史博物館

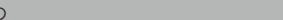
姫路など兵庫県の歴史や祭りについて学べます。

## 路線バスでひと足のばして



### ●書写山圓教寺

966年に開かれたお寺。ハリウッド映画「ラストサムライ」などの撮影が行われた人気のロケ地です。ロープウェイで向かいます。姫路駅北側から運行しているバスの往復運賃とのお得なセット券があります。姫路駅北側10番乗り場からバスで28分、書写山ロープウェイ下車。



## 観光情報はこちらでゲット

### ●姫路市観光案内所 (姫路観光なびポート)

各種観光案内やパンフレット設置のほか、無料レンタサイクル＆車いすの貸出し、携帯電話の充電（有料）などご利用いただけます。姫路駅北口そば。



TEL:079-287-0003

開館：9:00～19:00  
(レンタサイクル受付は16:00まで)

定休日：12月29・30日

### ●姫路市内の宿泊情報

姫路駅周辺を中心に、姫路市内にはたくさんの宿泊施設がそろっています。市内全域の宿泊施設の情報はこちらで確認できます。

